



吉川英梨

1カ月あいてしまいました
が、前回からの続きで呉の海上
保安大学校取材の様子を記し
たいと思います。

練習船こじまの帰港式を終
え、当時の事務局長の坂本誠志
郎さんに大学校内の施設を案内
していただくことになりました。

映画『海猿』の舞台にもな
った潜水プール、練習船こじまの
船内にもご案内いただいて六分
儀の使い方まで教えてもらいま
したが、なんととっても吉川が
はしゃいでしまったのは『海上
保安シミュレーションセンター』
です。

第一船橋と呼ばれる場所に入
った途端、もうそこは巡視船の
船橋と変わらない設備が。前方

海保シミュレーションセンターから初代長官の「正義仁愛」へ

左右に広がる窓の部分にはスク
リーンがはめ込まれ様々な状況
での操船のシミュレーションが
できるとのこと。吉川は早速、
東京の荒れている海の中を航行
するという設定で5分ほど体験
することに。本当に船に乗って
いるような乗り心地で、広島に
来ているはずなのに「あれ東京
にタイムスリップした!？」と錯
覚してしまうほどリアルです。
遊園地のアトラクションの
ようでもあり「うわーっすごい
すごい」とはしゃいだのも束の
間……揺れがだんだん大きくな
り、手すりにつかまっていな
いとふらつき、やがて船酔い寸前
に。

建物を出た途端にへ口へ口に
なっていました。

方々で私が質問攻めだったせ
いで、分刻みの行動予定がどん
どん押ししてしまう中、最後は敷
地内を車で移動し、海上保安資

最古の海上保安庁旗と、大久保初代長官（写真右上）直
筆の「正義仁愛」



料館へ。

ここには巡視船艇の模型や写
真パネルなどの他、映画撮影で
使用された実物のウェットス
ーツなどの展示がありましたが、
やはり目を引いたのは、工作船

と戦った巡視船あまみの弾痕が
残る船体の一部の展示です。そ
れまで、シミュレーションセン
ターではしゃいでいた私をにこ
やかに見守り、時に冗談を交え
てあちこち案内してくださった

坂本さん、巡視船あまみの展示
物の前ではぐっと表情が厳しく
なったのをいまでもよく覚えて
います。

ここで最後、私の
足が止まったのは海上
保安庁発足時に掲
げられた最古の海上
保安庁旗。その上
には初代長官・大久
保武雄氏の直筆『正義
仁愛』の書が。これ
までの取材でもあち
こちで聞いてきたこ
の言葉、ここでも改
めて坂本さんが、海
上保安官の精神とし
て大切な言葉である
ことを話してくださ
いました。

ついさっき、潜水
プールを見てきたばかりです。
「女性版の海猿」「主人公の名
前に『正義仁愛』が入る」……
『海蝶』の基本設定がひらめい
た瞬間でした。

(つづく)

「女性版の海猿」「主人公の名前に『正義仁愛』が入る」ひらめきの瞬間